

事例 No.8 木曾町町民温水プール（長野県木曾町）

【記事作成：2023年8月】

事業者

【事業者】 木曾町

【事業者分類】 市町村

導入施設

【導入施設分類】 温水プール

【導入施設名】 木曾町町民温水プール

【所在地】 長野県木曾町

取組概要

【設備導入年度】 2016年度

【事業概要】 再生可能エネルギー、自然採光、換気等を最大限導入し維持管理の低減を図る。

バイオマス設備導入前の状況

【既存熱源】 灯油ボイラー

【燃料消費量】 -

【燃料代】 -

バイオマス導入設備

【導入設備】 チップボイラー

【導入台数】 1台

【設備仕様】

①ボイラーメーカー：VIESSMAN（株式会社ヒラカワ）

②型番：PYROT-540

③ボイラー出力：540kW

④着火方法：自動

【用途】 給湯、暖房

【蓄熱タンクまたは貯湯タンク】 8,000ℓ×1台

バイオマス燃料

【種類】 乾燥チップ

【燃料水分】 水分 25%以下

【燃料形状】 切削チップ

【燃料消費量】

計画値：630m³/年

実績値：80t/年

バックアップ設備

【設備種類】 灯油ボイラー

【設備仕様】 出力：930kW

設計時のポイント

施設の必要熱量から、熱量・維持管理費の安価なバイオマスボイラーを選定。

バイオマス設備の運用（計画・実績）

【バイオマスボイラー運転計画】

①1日の運転計画：24時間運転

②季節変動：なし

【運転状況】

夜間は運転停止しバックアップで運転。

※チップつまりによるバイオマスボイラー停止を避けるため。

費用

【イニシャルコスト】

◆総事業費：48,600千円（チップボイラーに係る費用のみ）

◆事業費内訳

機械設備工事費：20,484千円

※機械設備工事費のうちボイラー本体価格：18,720千円

電気設備工事費：1,828千円

建築工事費：－（チップボイラーに係る事業費には含まれてない）

試運転・調整費：442千円

その他：25,846千円（配管・貯湯タンク等）

◆補助金：森林整備加速化・林業再生基金事業補助金（林野庁）

◆自己負担額：26,600千円

【ランニングコスト（運用状況）】

- ①木質燃料購入費：1,773 千円/年
- ②電気代：7,144 千円/年（施設全体）
- ③点検費：－
- ④メンテナンス費：940 千円/年
- ⑤維持費：－
- ⑥測定費：－
- ⑦灰処理費：2 千円/年（0.3t/年）
- ⑧化石燃料購入費：1,445 千円/年

投資回収年数

－

運用後の実績

－

導入効果

【CO₂ 排出削減効果】 435tCO₂/年 ※見込み

問合せ先

木曾町役場 生涯学習課

TEL：0264-23-2070

MAIL：shougai@town.kiso.lg.jp

本事業に関する Web サイト

なし



温水プール外観



温水プール施設内の様子



チップボイラー

※本記事は、アンケートおよびヒアリング調査をもとに日本木質バイオマスエネルギー協会が作成したものです

※各項目の「-」は未回答のものです